

会 議 録

- 1 会議の名称 熊取町保健対策推進協議会
- 2 開催日時 令和8年7月29日（水）午後2時～3時30分
- 3 開催場所 熊取ふれあいセンター 4階 研修室
- 4 議題
案件1 令和7年度保健事業実施状況報告および
令和8年度保健事業実施計画について（資料1）
案件2 熊取町新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について（資料2）
案件3 その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 0人
- 7 審議等の概要

案件1 令和7年度保健事業実施状況報告および令和8年度保健事業実施計画について

○事務局説明

資料1に沿って、「母子保健事業」、「予防接種事業」、「健康増進事業」、「特定健診・特定健康指導事業」、「一般介護予防事業」、「広域医療対策事業」、「その他」の各事業の令和7年度保健事業実施状況報告および令和8年度保健事業実施計画について説明し、委員の承認を得た。

案件2 熊取町新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

○事務局説明

資料2について、事前に資料を配付して内容をご確認いただき、委員から頂いた意見について回答を行った。また、概要版についても説明し、委員の承認を得た。

案件3 その他

特になし

○主な質疑応答

【委員】 すくすく相談時にタピオ体操出前講座を年3回実施した。普段の出前講座では同年代が多いが、すくすく相談では若い世代が多く、将来につながる活動と感じた。年3回でなくもっと回数を増やしたい。

【事務局】 すくすく相談時に若い世代に対してタピオ体操を実施できて良かった。回数を増やすことについては、すくすく相談時は他のテーマでの講座も実施しており、他の機会も含め回数増加について、相談しながら進めていきたい。

- 【委員】 大腸がん検診を全ての集団の特定健診やがん検診と同時に受診できるようにしたことで、受診率が上がった。肺がん検診も医療機関での特定健診と同時に受診できるようにすると、受診者数が増えるのでは。
- 【事務局】 全ての集団検診で大腸がん検診を同時に受診できるようにした効果があった。現在、肺がん検診は集団検診でしか受診できないが、個別検診でも受診できるよう準備をすすめており、個別の特定健診と同時に受診できることで受診率向上に努めていく。
- 【委員】 歯科の受診率の向上について、どのような取り組みをしたのか。
- 【事務局】 歯科健診については、令和6年度から対象を20歳から受診できるように拡大し、令和6年度から令和7年度にかけて20、30歳代の受診者数が増加しており、若い世代にも意識が広がっていると感じている。また、50、60歳代の受診者数も増加しており、歯周病予防にもつながっていると考える。今後も各歯科医院の協力を得て、受診者数を増やしていきたい。
- 【委員】 服薬情報について薬局より10～15種類と多剤服用の情報があり、とても良かった。
- 【委員】 令和7年度に、期間限定で6種類以上の多剤服用者に薬局へ相談を促す通知を行ったことがきっかけと考える。今後も多剤服用のチェックと、服薬数だけでなく本人にあった薬であるかの確認も大事にしたい。
- 【事務局】 令和7年度の取り組みで、日頃から薬局で多剤服薬のチェックをしてきていることがわかり良かった。
- 【委員】 2013年から本学の教員等が講師を務めている体力若返り講座を継続して行っており、講座の開始前後で認知力検査を実施した結果、いずれのデータも改善がみられている。
- DASHプロジェクトの一環として、熊取町のフレイル予防マスター講座も受講し一定の条件を満たせば、体力若返り講座の受講料に対し、3,500円の補助があるが、一回きりである。
- 【事務局】 補助について、複数回希望のご意見も頂いているが、補助金の目的は健康づくりのリーダー育成であり、多くの方に受けて頂きボランティア活動につながるきっかけとしたい意図がある。
- 【委員】 熊取町の収縮期血圧の有所見者数は減ってきているが、国・府と比べると高い。
- 尿中ナトリウム比の調査結果より、熊取町では食塩などナトリウムの摂取量は多くないが、野菜や果物などカリウムの摂取量が少ない。また、調査の中で一日2合以上飲む女性など飲酒量が多い方も多くみられ、高血圧対策として飲酒に対する指導も必要と考えられる。
- また、P67の腹囲の令和6年度と令和7年度の数値が大きく変化していることについて、手技の影響も考えられる。
- 【委員】 血圧は家では120mm/Hg台でも、健診時には緊張により160mm/Hg台になる方がいる。
- 尿中ナトリウム測定による効果が出たら結果を教えてほしい。
- 【委員】 高齢者の飲酒状況について、カラオケや飲み会など集まる機会も多く、飲む人は3合以上飲むが、飲まない人は全然飲まない。健康麻雀も始め、50人程いるが飲む方は少ない。
- 【委員】 民生委員活動の中で、65歳以上の独居の方に定期的に訪問し、その際にタピオステーションに誘っている。元気な方はタピオステーションに行くが、憩の家まで行くのが大変な方もいる。タピオ体操をおすすめしたいので、高齢者福祉部会のメンバーでタピオ練習日に参加したい。
- 【委員】 健くま隊のツキイチウォーキングは1時間歩くため、タピオ体操で足を丈夫にしてツキイチウォーキングに参加できるようになったらいいと思う。
- 【委員】 食改活動では、飲酒に関する話はしないが、減塩や野菜摂取を積極的に勧めている。
- 親子クッキングも実施しており、食生活に関心がある方が増えてほしい。
- 【委員】 前立腺がん検診は5年に1回でもいいのか？
- 【委員】 前立腺がんは成長速度が遅く、毎年でなくてもよいがん検診で3年に1回くらいでも良い。

8 審議会の情報

名称	保健対策推進協議会
根拠法令等	保健対策推進協議会規則
設置期間	平成 25 年 4 月 1 日～
所掌事項	次に掲げる事項についての審議、企画及び推進 (1) 健康に関する知識の普及 (2) 保健、栄養、食生活改善等の指導 (3) 健康に関する各種の集会、講習等の開催 (4) 健康相談、健康診査、その他健康を推進するための事業 (5) その他保健計画に関する調査及び保健計画策定等の検討、 評価並びに見直し
委員数	15 人

9 担当課 健康・いきいき高齢課